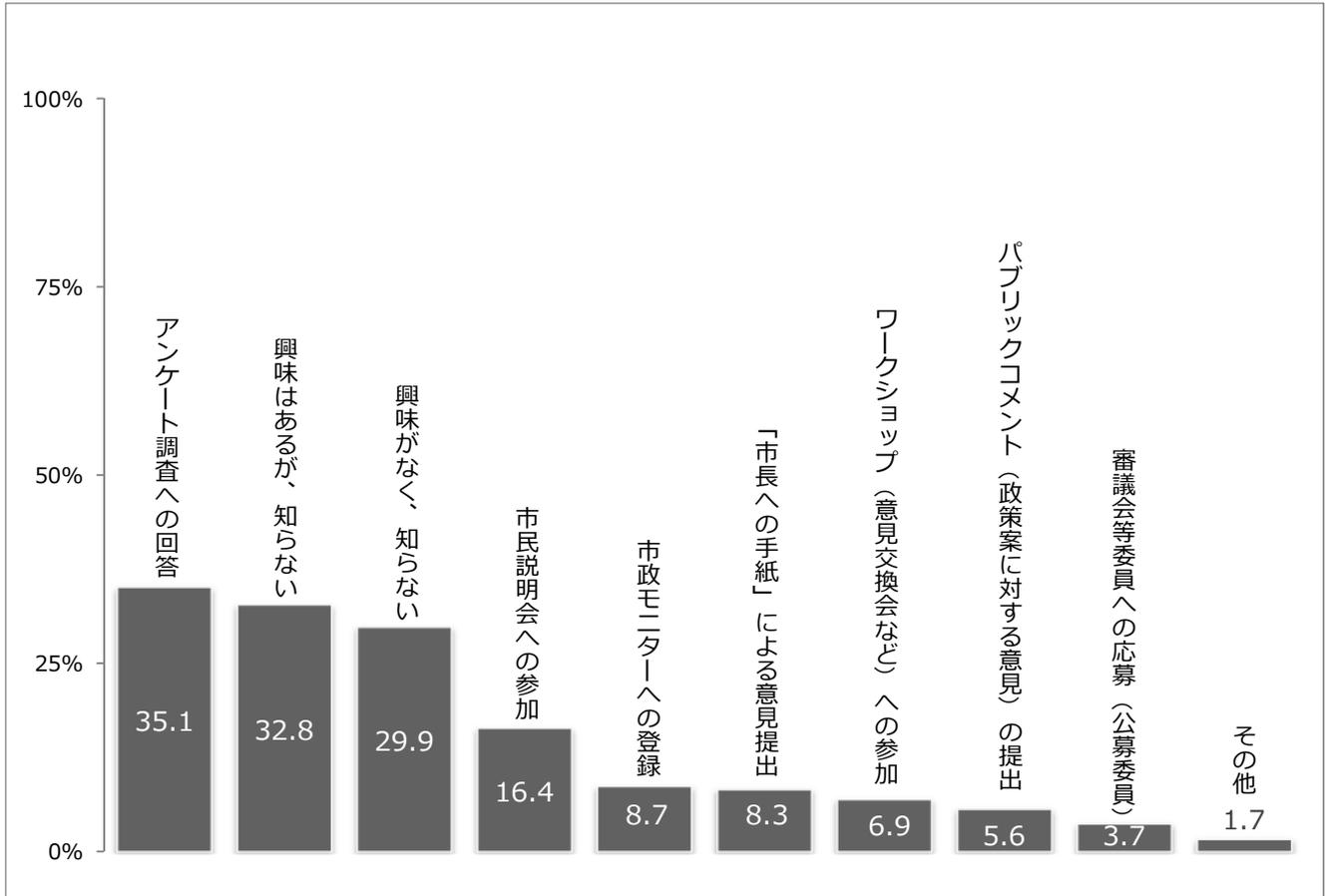


第7章 個別の政策課題の設問

1 市民参画手法に対する意見

市政へ参画する方法・制度について知っているものは何ですか。(複数選択可)

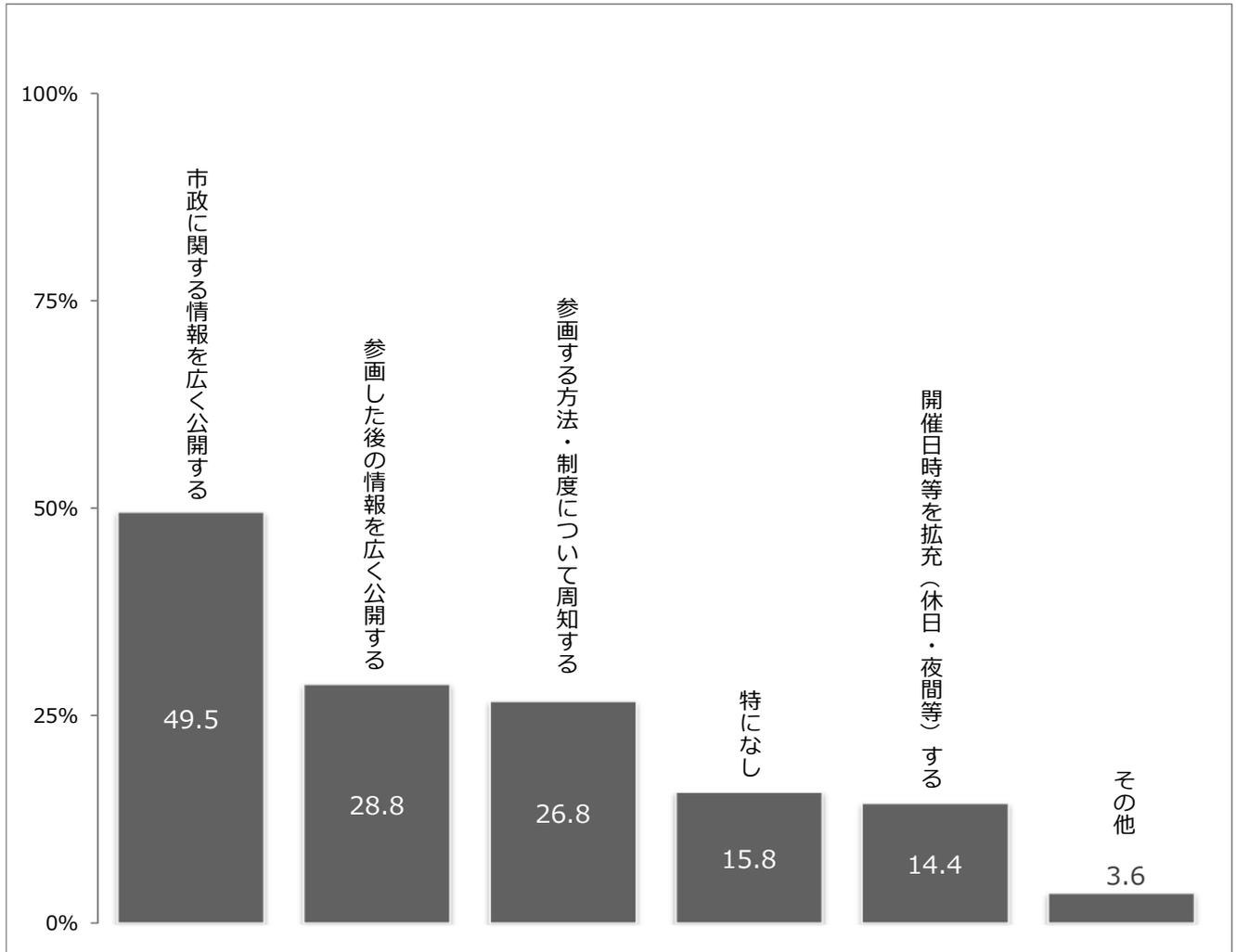
一般市民
Q78
n=1,953



市政へ参画する方法・制度で知っているものとして、選択された割合が最も高かったものは、「アンケート調査への回答」(35.1%)となり、次いで、「興味はあるが、知らない」(32.8%)、「興味がなく、知らない」(29.9%)が続いた。

より多くの市民が市政に参画するためには、どのようなことが必要だと思いますか。
(複数選択可)

一般市民
Q79
n=1,934



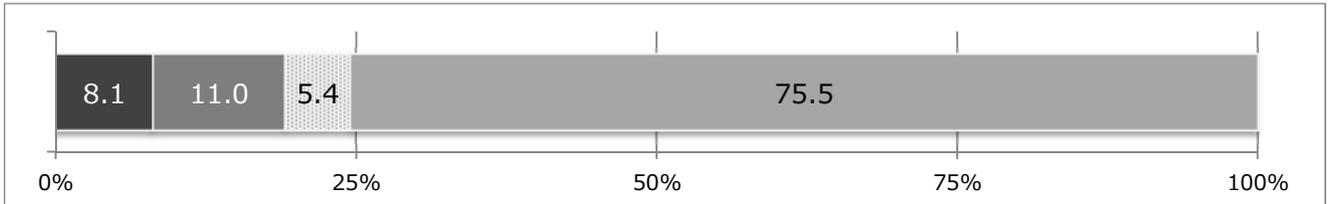
より多くの市民が市政に参画するために必要なこととして、選択された割合が最も高かったものは、「市政に関する情報を広く公開する」(49.5%)となり、次いで、「参画した後の情報を広く公開する」(28.8%)、「参画する方法・制度について周知する」(26.8%)が続いた。

2 障がいのある方に関する意見

障がいの有無に関らず、互いに尊重し合い、共に生きる社会をめざすため「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律（障害者差別解消法）」と「岐阜県障がいのある人もない人も共に生きる清流の国づくり条例」が、H28.4から施行されたことを知っていますか。

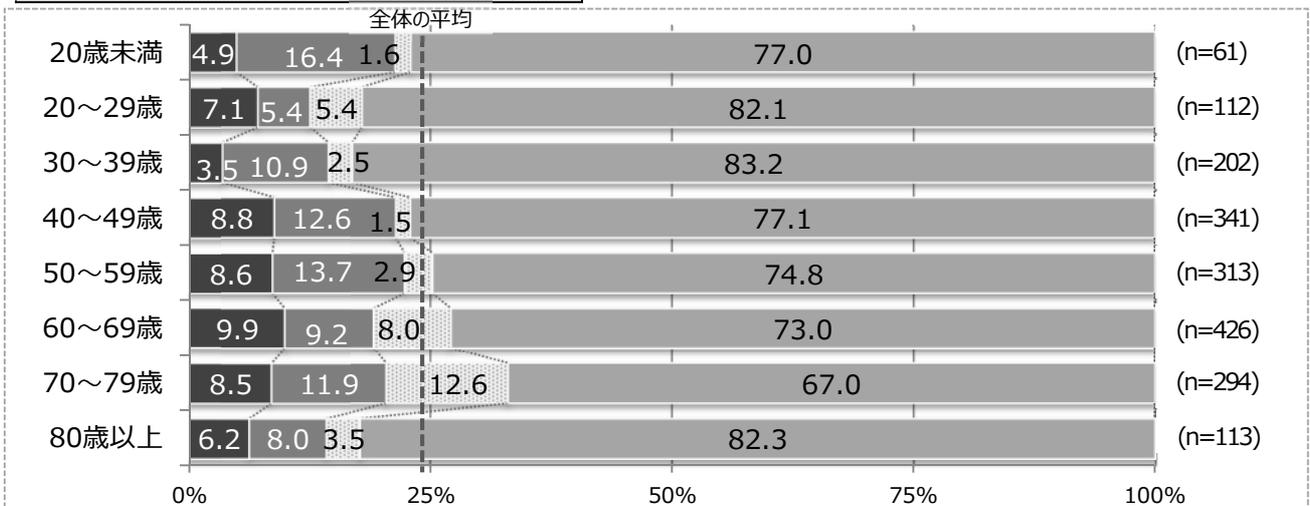
一般市民
Q80
n=1,905

法律、条例ともに知っている
 法律のことは知っている
 条例のことは知っている
 法律、条例ともに知らない



法律（障害者差別解消法）及び条例（岐阜県障がいのある人もない人も共に生きる清流の国づくり条例）が平成28年4月から施行されたことを知っているかどうかについて、選択された割合が最も高かったものは「法律、条例ともに知らない」（75.5%）となり、次いで、「法律のことは知っている」（11.0%）となった。

年齢階層別構成とのクロス集計 n=1,862

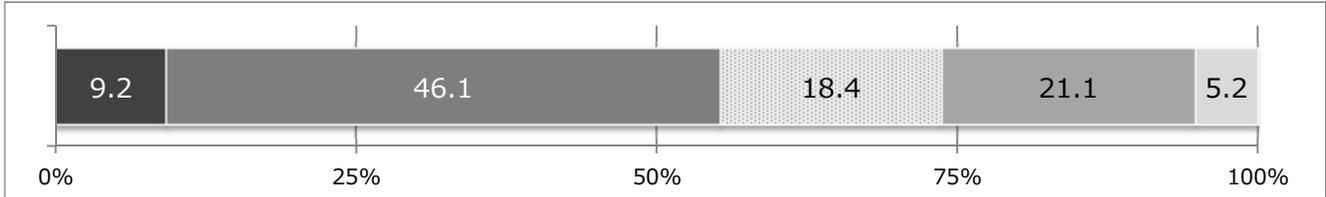


年齢階層別に、「法律、条例ともに知っている」、「法律のことは知っている」、「条例のことは知っている」と回答した割合の合計を全体の平均（24.5%）と比較すると、「70～79歳」（33.0%）、「60～69歳」（27.1%）、「50～59歳」（25.2%）が平均を上回った。一方で「30～39歳」（16.9%）、「80歳以上」（17.7%）、「20～29歳」（17.9%）、「20歳未満」（22.9%）、「40～49歳」（22.9%）では平均を下回った。

障がいのある方への周囲の方の接し方についてどのように感じますか。

一般市民
Q81
n=1,917

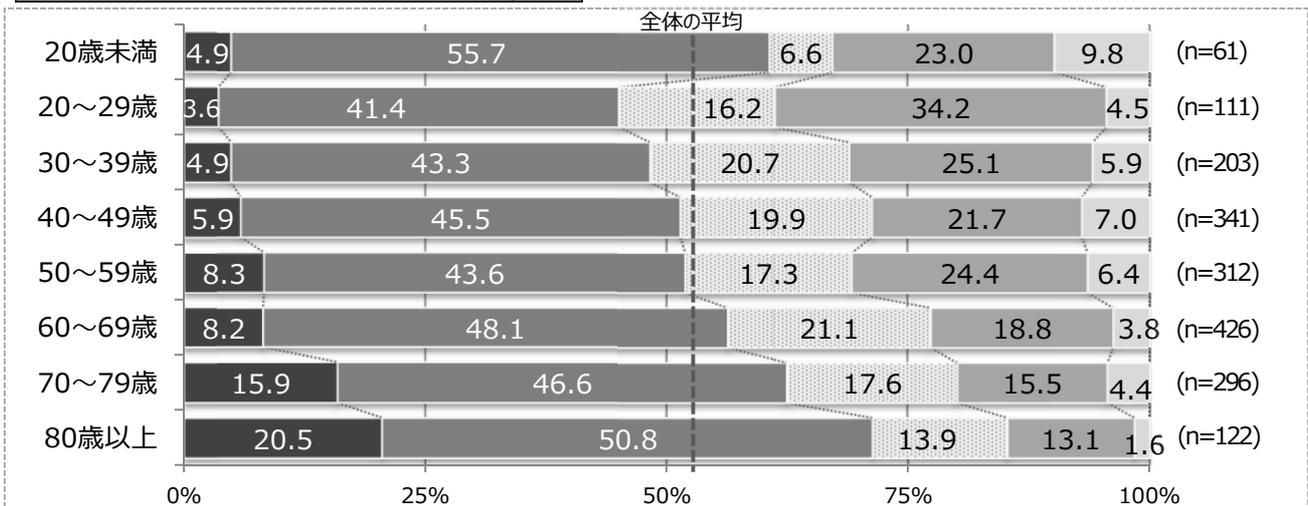
- 理解や配慮がされていると感じる
- ある程度の理解や配慮がされていると感じる
- どちらともいえない
- ある程度の差別や偏見を感じる
- 差別や偏見を感じる



障がいのある方への接し方については、「理解や配慮がされていると感じる」(9.2%)、「ある程度の理解や配慮がされていると感じる」(46.1%)と回答した割合の合計は 55.3%となった。

一方で「差別や偏見を感じる」(5.2%)、「ある程度の差別や偏見を感じる」(21.1%)と回答した割合の合計が 26.3%となった。

年齢階層別構成とのクロス集計 n=1,872

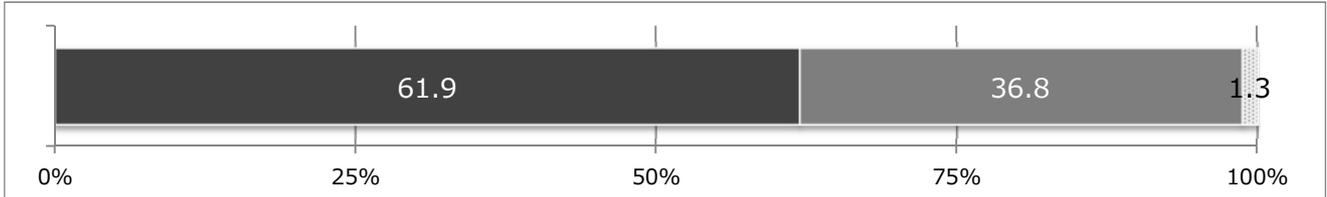


年齢階層別に「理解や配慮がされていると感じる」、「ある程度の理解や配慮がされていると感じる」と回答した割合の合計を全体の平均(55.3%)と比較すると、「80歳以上」(71.3%)が平均を大きく上回り、「70～79歳」(62.5%)、「20歳未満」(60.6%)、「60～69歳」(56.3%)でも平均を上回った。一方で「20～29歳」(45.0%)では平均を大きく下回り、「30～39歳」(48.2%)、「40～49歳」(51.4%)、「50～59歳」(51.9%)でも平均を下回った。

障がいのある方について、理解や配慮をしようと思いませんか。

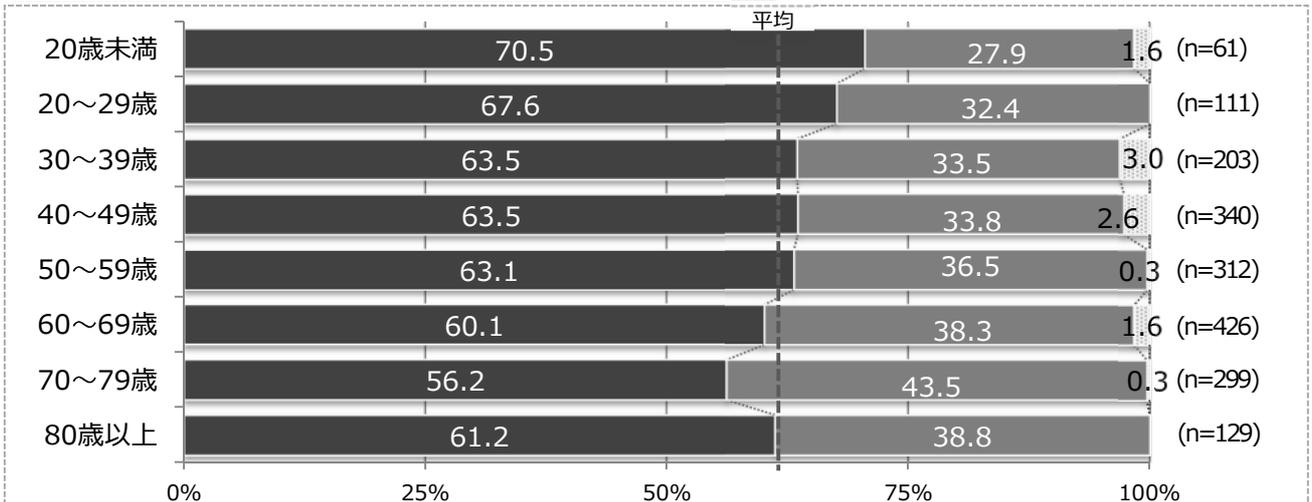
一般市民
Q82
n=1,929

■ そう思う ■ そう思うが、どのように理解や配慮をすればよいかわからない ▨ そう思わない



障がいのある方へ理解や配慮をしようと思うかについては、選択された割合が最も高かったものは「そう思う」(61.9%)となり、次いで、「そう思うが、どのように理解や配慮をすればよいかわからない」(36.8%)となった。

年齢階層別構成とのクロス集計 (一般市民) n=1,881



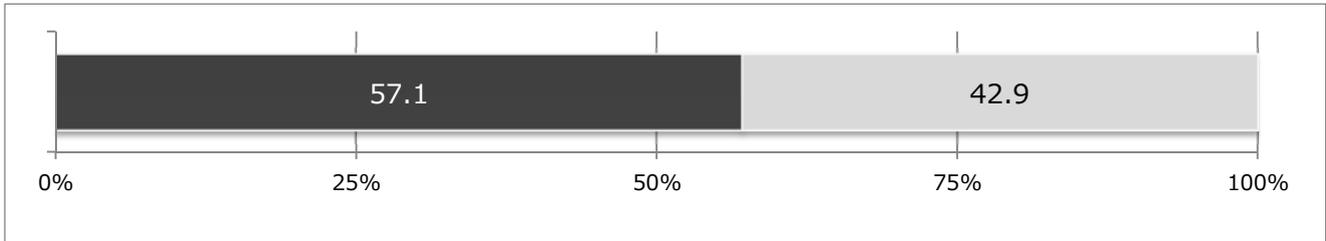
年齢階層別に、「そう思う」と回答した割合の平均(61.9%)と比較すると、「20歳未満」(70.5%)、「20～29歳」(67.6%)、「30～39歳」(63.5%)、「40～49歳」(63.5%)、「50～59歳」(63.1%)が平均の値を上回った。一方で「70～79歳」(56.2%)、「60～69歳」(60.1%)、「80歳以上」(61.2%)では平均の値を下回る、または近似した値となった。

3 長良川の鵜飼に対する意見

(長良川の鵜飼観覧船に乗船したことがある人にお聞きます)
長良川の鵜飼観覧船に再度乗船したいと思いますか。

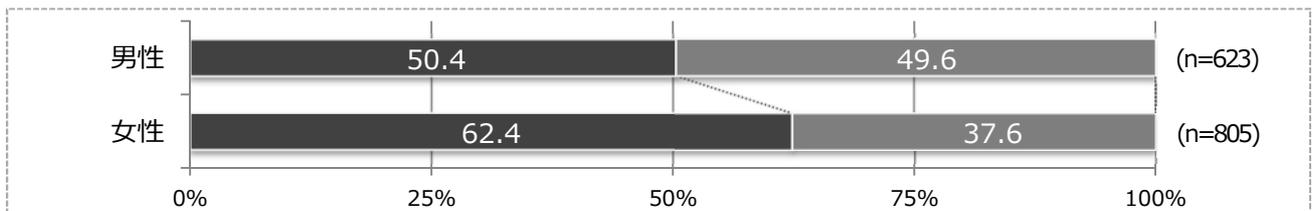
一般市民
Q83
n=1,445

■ 思う ■ 思わない



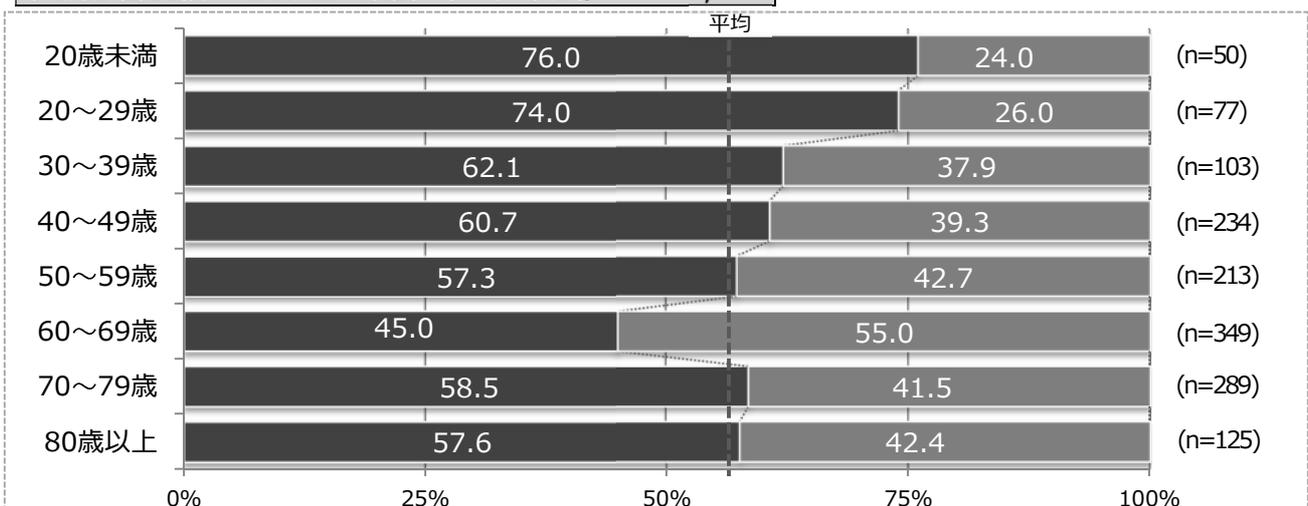
長良川の鵜飼観覧船に再度乗船したいかについては、「思う」(57.1%)が「思わない」(42.9%)を上回った。

男女別構成とのクロス集計 (一般市民) n=1,428



男女別に、「思う」と回答した割合を比較すると「女性」(62.4%)が「男性」(50.4%)を上回った。

年齢階層別構成とのクロス集計 (一般市民) n=1,440

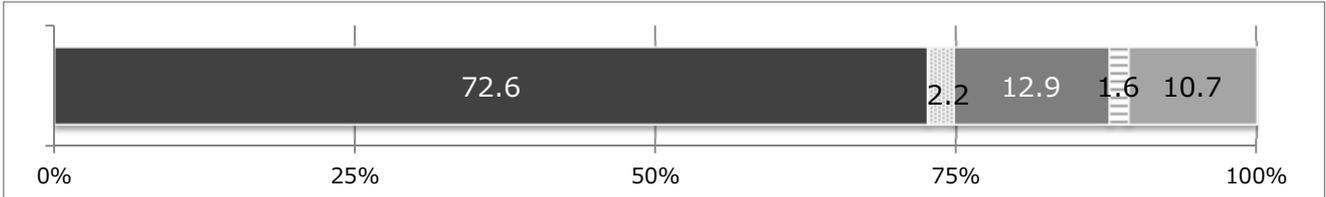


年齢階層別に、「思う」と回答した割合の平均(57.1%)と比較すると、「20歳未満」(76.0%)、「20～29歳」(74.0%)が平均を大きく上回り、「30～39歳」(62.1%)、「40～49歳」(60.7%)、「70～79歳」(58.5%)、「80歳以上」(57.6%)、「50～59歳」(57.3%)でも平均を上回る、または近似した値となった。一方で「60～69歳」(45.0%)では平均を大きく下回った。

(長良川の鵜飼観覧船に再度乗船したいと思わない人にお聞きます)
再度乗船したいと思わない最大の理由は何ですか。

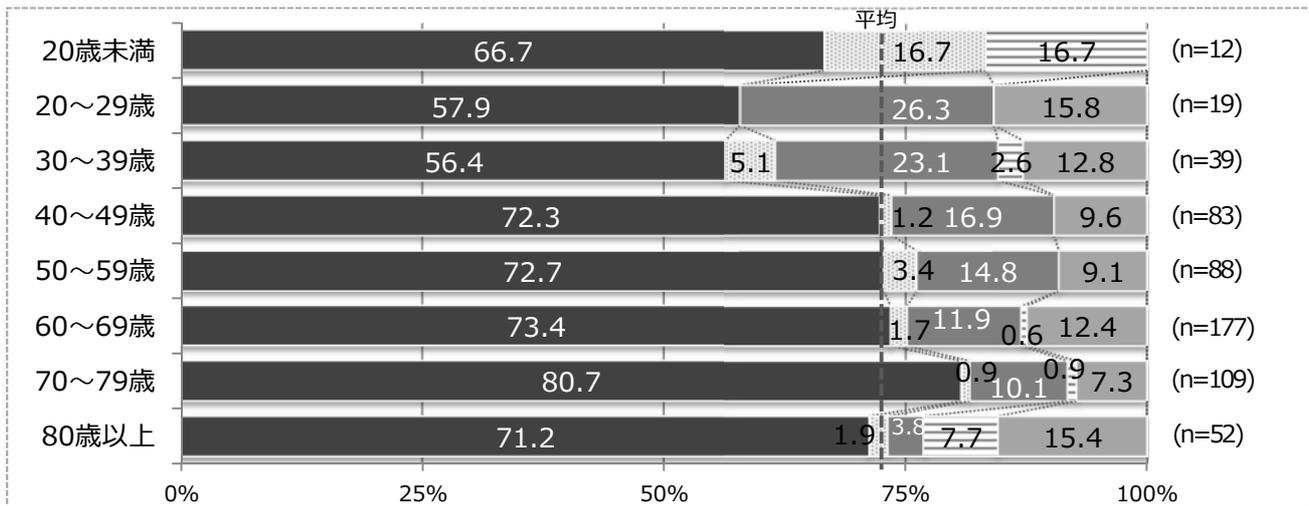
一般市民
 Q83-SQ
 n=580

■ 一度みれば十分 ■ 食事の手配が面倒 ■ 乗船料が高い ■ 乗船手続きが面倒 ■ その他



長良川の鵜飼観覧船に再度乗船したいと思わない最大の理由について、選択された割合が最も高かったものは、「一度みれば十分」(72.6%)となり、次いで、「乗船料が高い」(12.9%)が続いた。

年齢階層別構成とのクロス集計 n=579

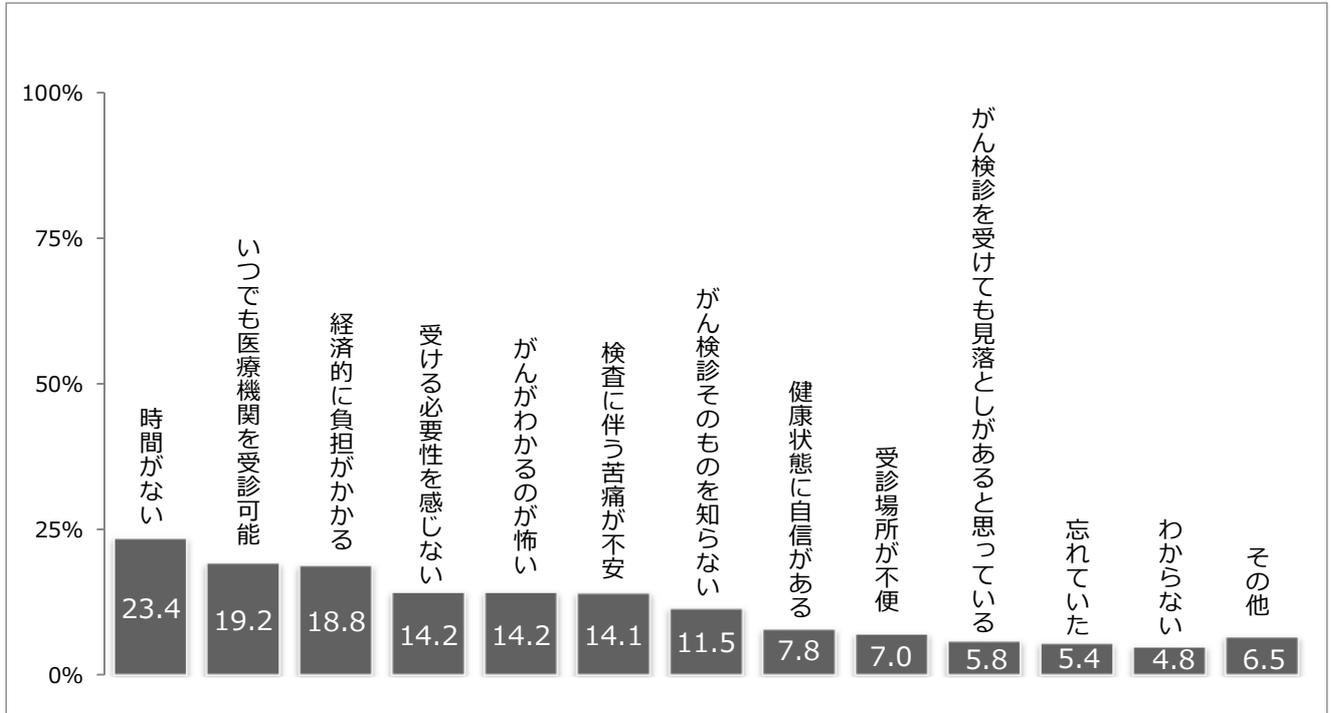


年齢階層別に、長良川の鵜飼観覧船に再度乗船したいと思わない最大の理由として、選択された割合が最も高かった「一度みれば十分」(72.6%)を比較すると、「70～79歳」(80.7%)、「60～69歳」(73.4%)、「50～59歳」(72.7%)が平均を上回る、または近似した値となった。一方で「30～39歳」(56.4%)、「20～29歳」(57.9%)では平均を大きく下回り、「20歳未満」(66.7%)、「80歳以上」(71.2%)、「40～49歳」(72.3%)でも平均を下回る、または近似した値となった。

4 がん検診に対する意識

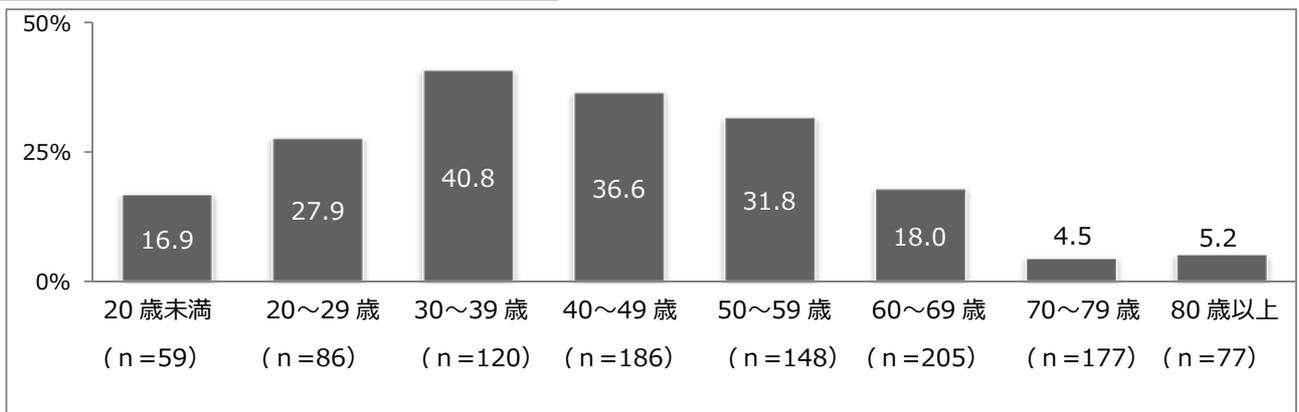
(がん検診を受診したことのない方にお聞きます)
 がん検診を受けていない理由は何ですか。(複数選択可)

一般市民
 Q84
 n=1,061



がん検診を受診したことのない人のがん検診を受けていない理由として、選択された割合が最も高かったものは、「時間がない」(23.4%)となり、次いで、「いつでも医療機関を受診可能」(19.2%)、「経済的に負担がかかる」(18.8%)が続いた。

年齢階層別構成とのクロス集計 n=1,058



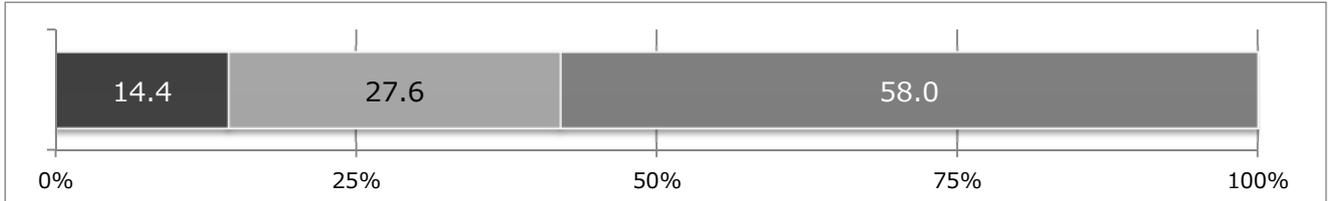
年齢階層別に、「時間がない」と回答した割合の平均(23.4%)と比較すると、「30~39歳」(40.8%)、「40~49歳」(36.6%)が平均を大きく上回り、「50~59歳」(31.8%)、「20~29歳」(27.9%)でも平均を上回った。一方で「70~79歳」(4.5%)、「80歳以上」(5.2%)では平均を大きく下回り、「20歳未満」(16.9%)、「60~69歳」(18.0%)でも平均を下回った。

5 たばこに対する行動や意見

現在、喫煙していますか。

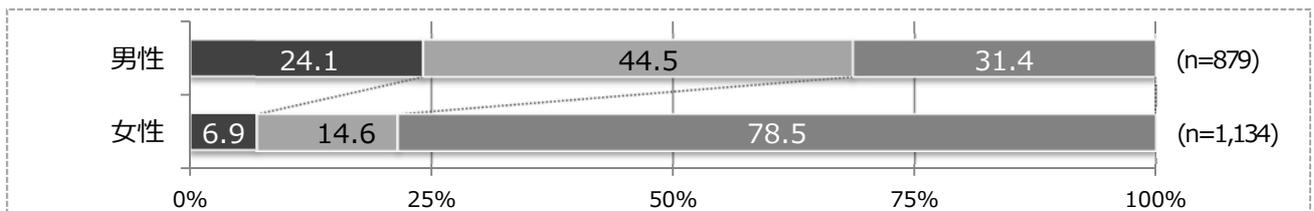
一般市民
Q85
n=2,032

■ 喫煙している ■ 禁煙した（過去に喫煙したことがある） ■ 喫煙したことがない



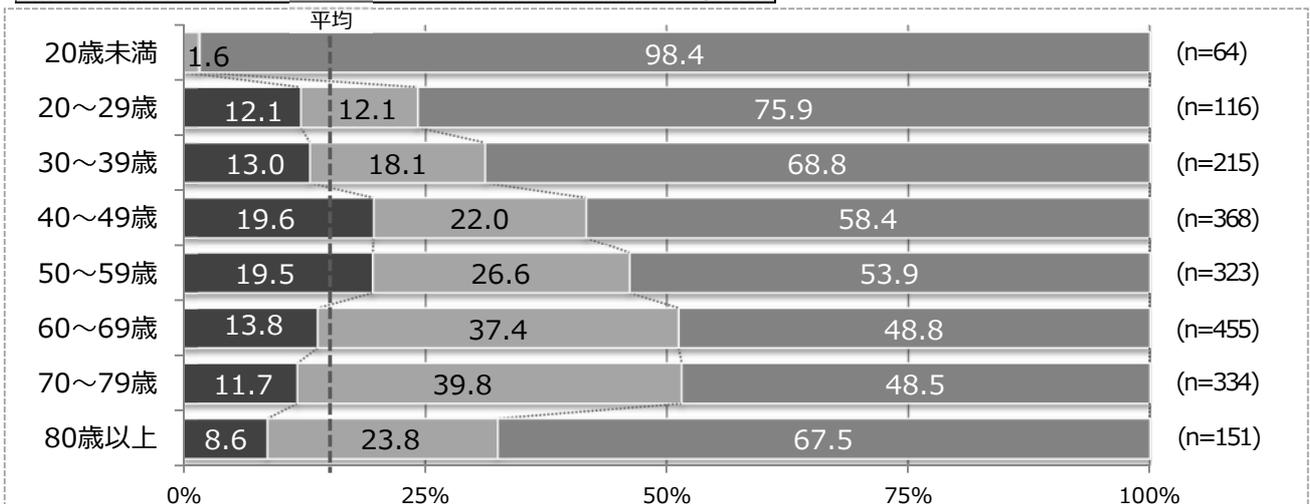
喫煙状況については、選択された割合が最も高かったものは「喫煙したことがない」(58.0%)となった。

男女別構成とのクロス集計 n=2,013



男女別に、「喫煙している」と回答した割合を比較すると「男性」(24.1%)が「女性」(6.9%)を大きく上回った。

年齢階層別構成とのクロス集計（一般市民） n=2,026

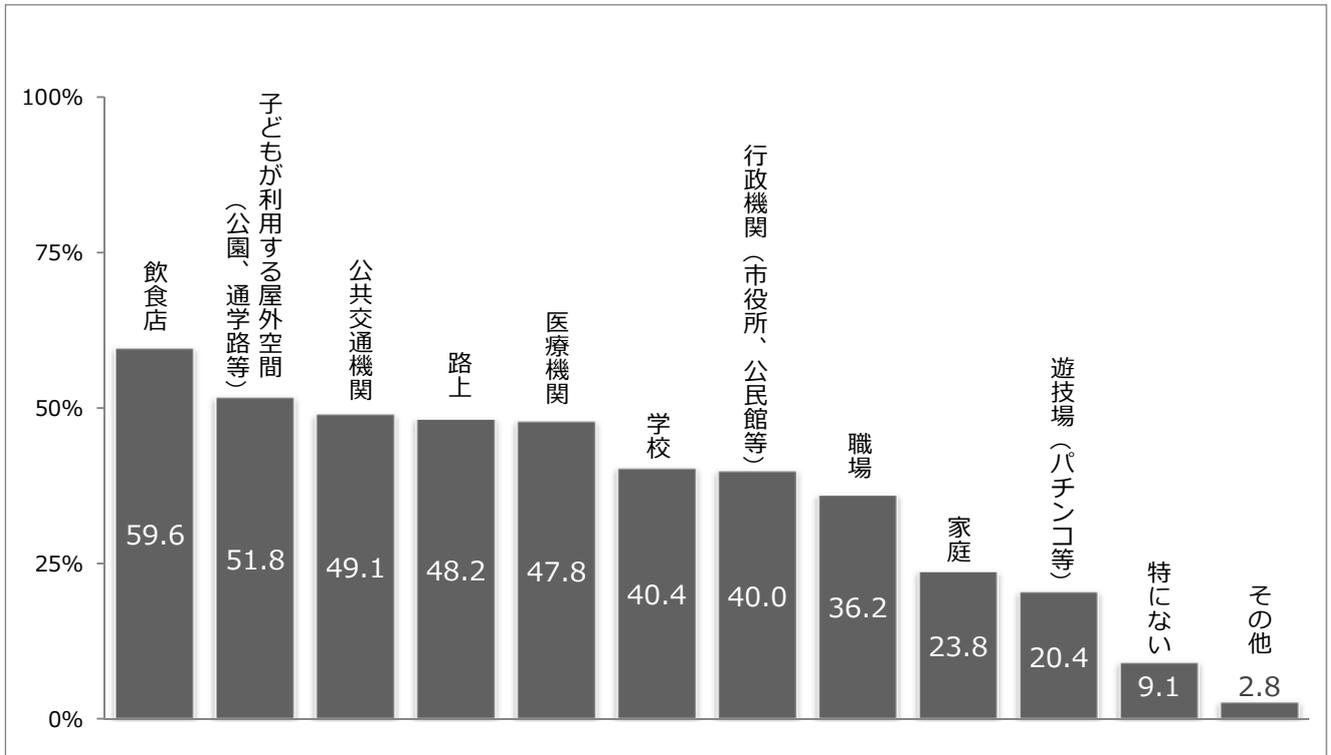


年齢階層別に、「喫煙している」と回答した割合の平均(14.4%)と比較すると、「40～49歳」(19.6%)、「50～59歳」(19.5%)が平均を上回った。一方で「80歳以上」(8.6%)、「70～79歳」(11.7%)、「20～29歳」(12.1%)、「30～39歳」(13.0%)、「60～69歳」(13.8%)では平均を下回った。

受動喫煙の防止対策が今後推進されることを希望する場所がありますか。
(複数選択可)

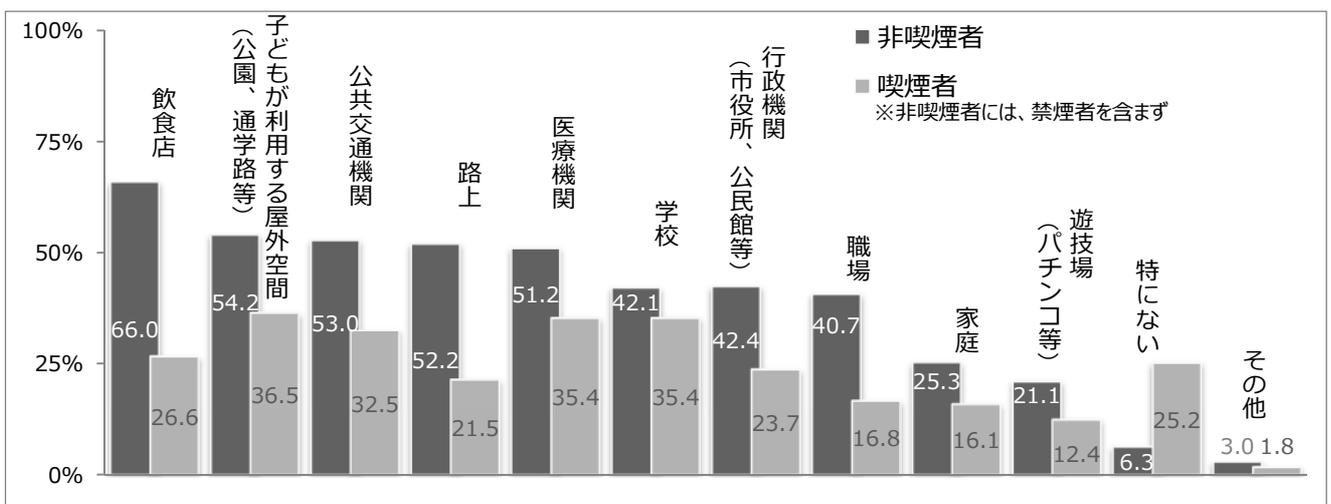
一般市民
Q86
n=1,952

※受動喫煙：たばこを吸う本人以外がたばこの煙を吸わされること



受動喫煙の防止対策として今後推進を希望する場所として、選択された割合が最も高かったものは、「飲食店」(59.6%)となり、次いで、「子どもが利用する屋外空間(公園、通学路等)」(51.8%)、「公共交通機関」(49.1%)、「路上」(48.2%)、「医療機関」(47.8%)が続いた。

「喫煙者」と「非喫煙者」とのクロス集計 n=1,931



「喫煙者」と「非喫煙者」で比較してみると、喫煙者で最も選択した割合が大きい場所は、「飲食店」(66.0%)となり、非喫煙者では、「子どもが利用する屋外空間(公園、通学路等)」(36.5%)となった。